

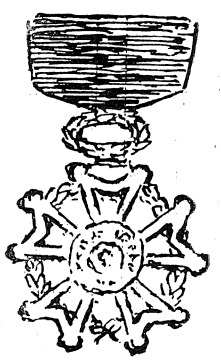
帝国汽船株式会社富国丸（4763トン）
鈴木商店が最初に買入れた船（大正5年頃）

たつみ

第 貳 号

目 次

表紙 鯖大師十六羅漢	おかめ八目……………③
表紙 説明…表紙3	特報ノ法人会員制設立案……………⑦
題字 高畑 誠 一 会 長	太陽林業KK社名変更ご挨拶⑥
扉 思い出のアルバム	古 都 の 庭……………⑪
レジョン・ド・ノール……………小川実三郎…③	辰巳会ゴルフ鳴尾分会……………⑫
満州国へ招聘された金子翁の思い出…福渡 一雄…④	東京支部だより……………⑫
生き抜こう……………柳田 義一…⑤	寿・長寿者へのおたより……………⑫
一億円の花束（辰巳会観月例会）…十河 一正…⑥	原 稿 募 集……………⑫
帰 る 旅……………宇津木玄一…⑧	辰巳会開催記録……………⑫
事業は人なり……………藤原 勢次…⑨	褒章受賞者名……………⑫
有毒食品を追放しましょう……………松本 褒…⑨	祝長寿大杯贈呈記録……………⑫
向うのお山……………雁 張 哉…⑩	編集室より……………⑫
たつみ 創刊号に寄せて……………武藤 定之…⑫	☆
糖尿病療法 松浦式玄米療法……………土居 英成…⑬	日 誌 抄……………今村 頼吉…⑭
大 盃 を 受 け て	鈴木よね子刀自
北村徳太郎・大田広輔・芳川筈之助…⑬	二十七回忌法要お供名簿……………⑭
私 の 放 言……………仁田 利助…⑭	哀 悼 録……………⑭
私 の 略 歴……………岡本 志良…⑭	よね子刀自法要記……………⑭
☆	☆
俳 句	哀 悼 記
今 村 蓄 橋……………⑭	上村政吉様の霊に捧ぐ…柳田 義一…⑮
福 田 豊 丘……………⑭	村上弘一氏を悼む……………森本兎之助…⑮
橋 本 隆 正……………⑭	松本三平さんに捧ぐ……………橋本 隆正…⑮
柳 田 義 一……………⑭	磯部房信君の足跡……………小川実三郎…⑮



レジョン・ド・ノール

小川実三郎

御本家がまだ大手（須磨）の大邸宅に居られた時のことから、昭和二年の暮か三年早春の頃の或る日のことだった。広間の壁の英国風のフアイヤー・プレスには赤い焔をゆるがせて石炭が心地よく燃えていた。

フランス政府からお家さんに贈られたレジョン・ド・ノール勳章を持って今日神戸の仏総領事が来られるというので、お家さんは紋服に身を正し大主人若主人に附添われ静かに領事の来訪を待つて居られた。店からは高畑、永井、北浜の三氏に伍し私が末席に参加させて頂いた。

やがて領事は来られ、一応の挨拶の後、持参の函から勳章を取出し自分の手でお家さんの胸にこの世界の名勳章レジョン・ド・ノールは佩（つ）けられた。本来なら東京のフランス大使館で行なわれる筈だったが、お家さんは昭和二年四月の「お

店の変」以後は邸内で静かに日々を過ぎられ公式の席には全然出られなかったので、大使に代り神戸駐在の領事が鈴木邸に向いて来られたのである。卓上には心尽しの酒肴が用意されていたが、領事は殆んど手を付けず直ぐ帰られたので、私達はお家さん両主人を囲みこの珍珠佳肴で祝宴のお招伴に預かった。

話はこれだけのことだが、過般オリエンタルで開催された辰巳会例会では、お家さんの二十七回忌と若主人の十七回忌を行事として簡素な法要が行なわれたが、私は壇上に安置された御二方の写真の内、特にお家さんのお写真に「近寄って拝見したら、胸間を飾ってる数々の勳章の中で向って左の端に一段と大きく美しいデザインで私の目を引いたのは、あの日のレジョン・ド・ノールであ

った。その瞬間私は過ぎし日のことがまざまざと思い出され一層懐旧の

念堪えないものがあつた。

この勳章は一八〇二年ナポレオン一世により創始されたもので、栄誉団章とでも訳すべきだが、レジョン・ド・ノールとフランス語の原名で世界中知られている。文、武官、民間人更に外国人にも贈られるが日本の勳章のように等級がないので一層格調高く感ぜられる。お家さんが日本人でしかも女性でこれを受けられたのは正に特筆すべきことである。私の仄に特筆すべきことである。私の仄に聞する処では、これは京都東山に建てられている日仏会館建設の際お家さんの寄せられた協力が重く認められたためとか。いづれにしても慶祝すべきことであつた。

（一九六四・八月記）

おかめ八目

兼ねてから会の陸武者、御意見番役でもあられた長老の毒舌家（御免）釣り立ての鯨を見る様な新鮮そのものの勝屋利秋さん所用の為にこのほど来神されたのを幸に去る十一月二十三日早朝、十河、畑、柳田三幹事打ち揃い、オリエンタルホテルのロビーを訪い面談の一駒……

先日大阪に於ける辰巳会等の盛り上がる会の近況と次に来るべき会の運営計画である、法人会員の説明には破顔の上意義深く感じると共鳴され「今後大いに貴公達には肌脱いで見度い」とこの言葉にはわれわれの気を良くすること夥しい。之に更に嬉しく附言されたことは最初から出来る限り法人から各社多額の資金を寄せること、欲を出していかないとはいないが、寄附金名目であることにかくこの世はうるさい事がまといつくから経費で落して貰う工夫を選ばれるがよからうと碎けた御注言他山の石として傾聴、肯綮に価すると思つた。また、東京支部の強化に就いても帰京後一つお考え願うことをも約して対談四十分間大いに励まされながらホテルを出た。いつまでも若い勝屋さんの今後の御協力が望ましい。

S・H・Y